

# 八王子都市計画道路3・4・28号線 (Ⅱ期)

(八王子市石川町～宇津木町)

令和4年7月4日(月)

建設局道路建設部

# 目次

1. 事業概要	.....	1
2. 社会経済情勢の変化	.....	5
3. 事業の投資効果	.....	6
4. 事業の進捗状況と見込み等	.....	10
5. コスト縮減等	.....	12
6. 対応方針(原案)	.....	13

# 1. 事業概要(1)

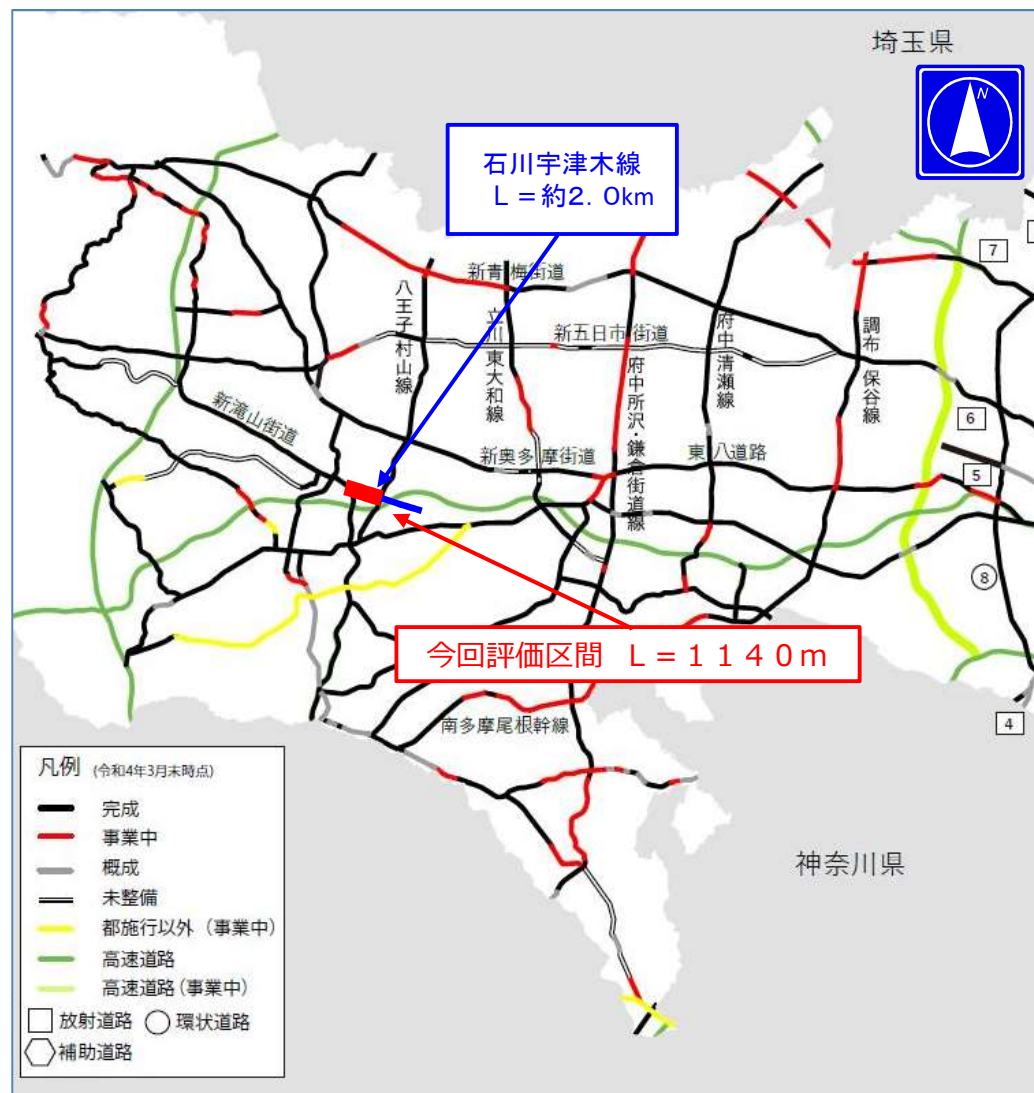
## [全体概要]

路線名：石川宇津木線  
 区 間：八王子市石川町  
 ～同市宇津木町  
 延 長：約2.0km

## [今回評価区間]

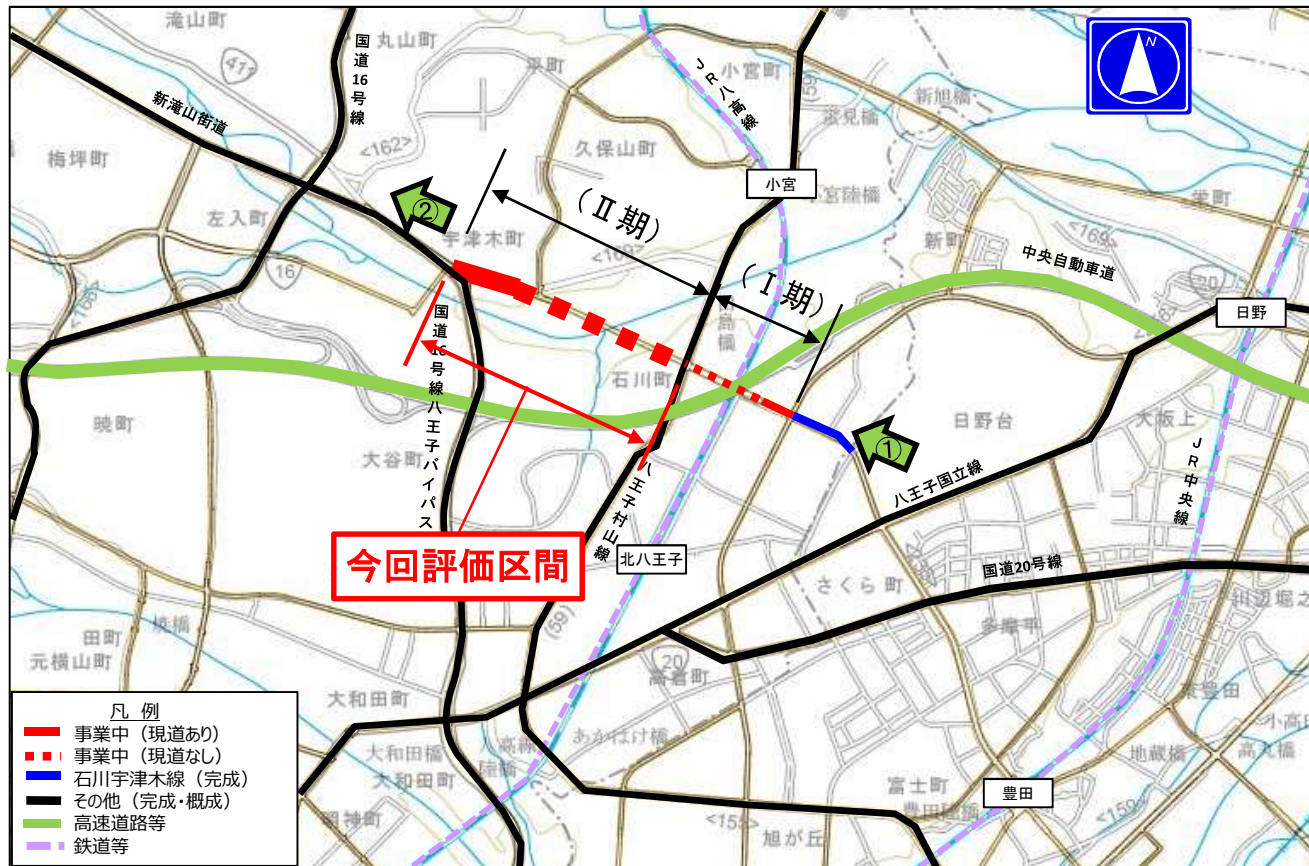
区 間：八王子市石川町  
 ～同市宇津木町  
 延 長：1140m  
 幅 員：15～23m(2車線)  
 事業費：約63億円

年度	計画等
昭和36年10月 3日	都市計画決定
平成元年 6月16日	都市計画変更
平成25年 6月20日	事業認可取得
令和 9年 3月31日	事業認可期間



# 1. 事業概要(2)

## 今回評価区間周辺の概要



## 同一路線の沿道状況

①



(整備済み区間の状況)

②



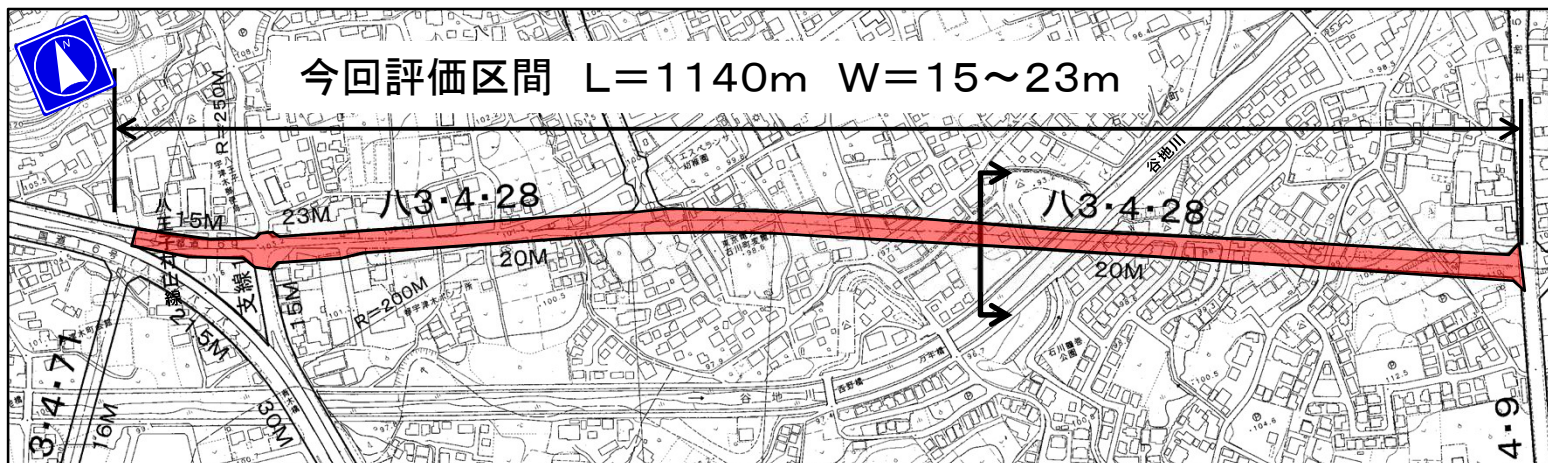
(国道16号線八王子バイパスの状況)

## 事業の効果

- 八王子市と日野市を結ぶ道路ネットワークの強化による**交通のより一層の円滑化**
- 歩行者、自転車通行の**安全性の向上**
- 電線類の地中化による**良好な都市景観の整備**と**防災性の向上**

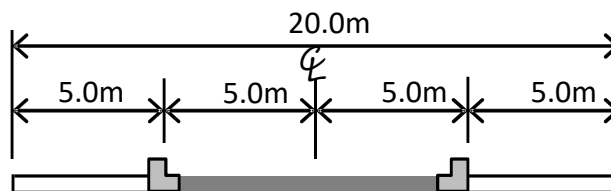
# 1. 事業概要(3)

平面図

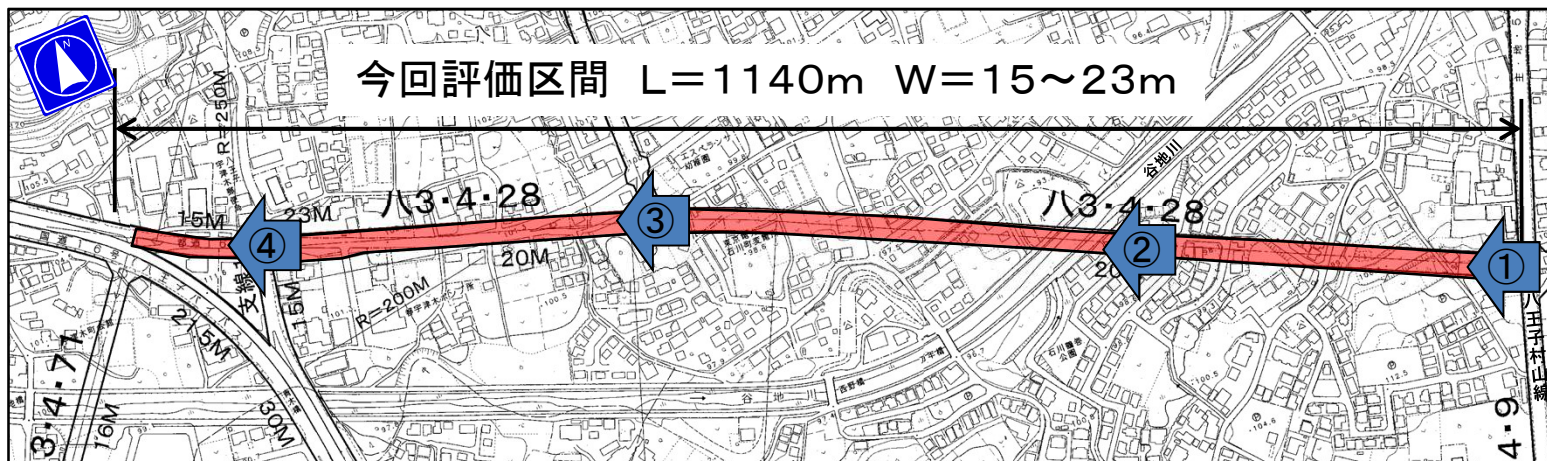


横断図

<将来>



# 1. 事業概要(4)



現況



起点側(石川町側)



道路予定地(石川町側)



道路予定地(宇津木町側)



終点側(宇津木町側)

## 2. 社会経済情勢の変化等

### 社会経済情勢の変化

- 本路線周辺の現況交通量  
(H27年度) は、H22年度と比較  
して、約1,700台/12h増加している。

### 隣接する区間の進捗状況

東京都 施行	地区	着手 年度	用地	工事
①	八王子3・4・28 (I期)	H20	100%	実施中



### 3. 事業の投資効果(1)

#### 定量的効果

#### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	167.0 億円
走行時間短縮便益	162.7 億円
走行経費減少便益	3.2 億円
交通事故減少便益	1.1 億円

#### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	65.7 億円
工事費	43.2 億円
用地費	17.2 億円
維持管理費	5.3 億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

#### 【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 2.5 \text{ (前回 -)}}$$



### 3. 事業の投資効果(2)

#### 定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	◎
	バスの定時性	
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	○
防災	緊急車両の走行	○
	延焼遮断	
	災害時の避難路の確保	○
	消防活動困難地域の解消	○

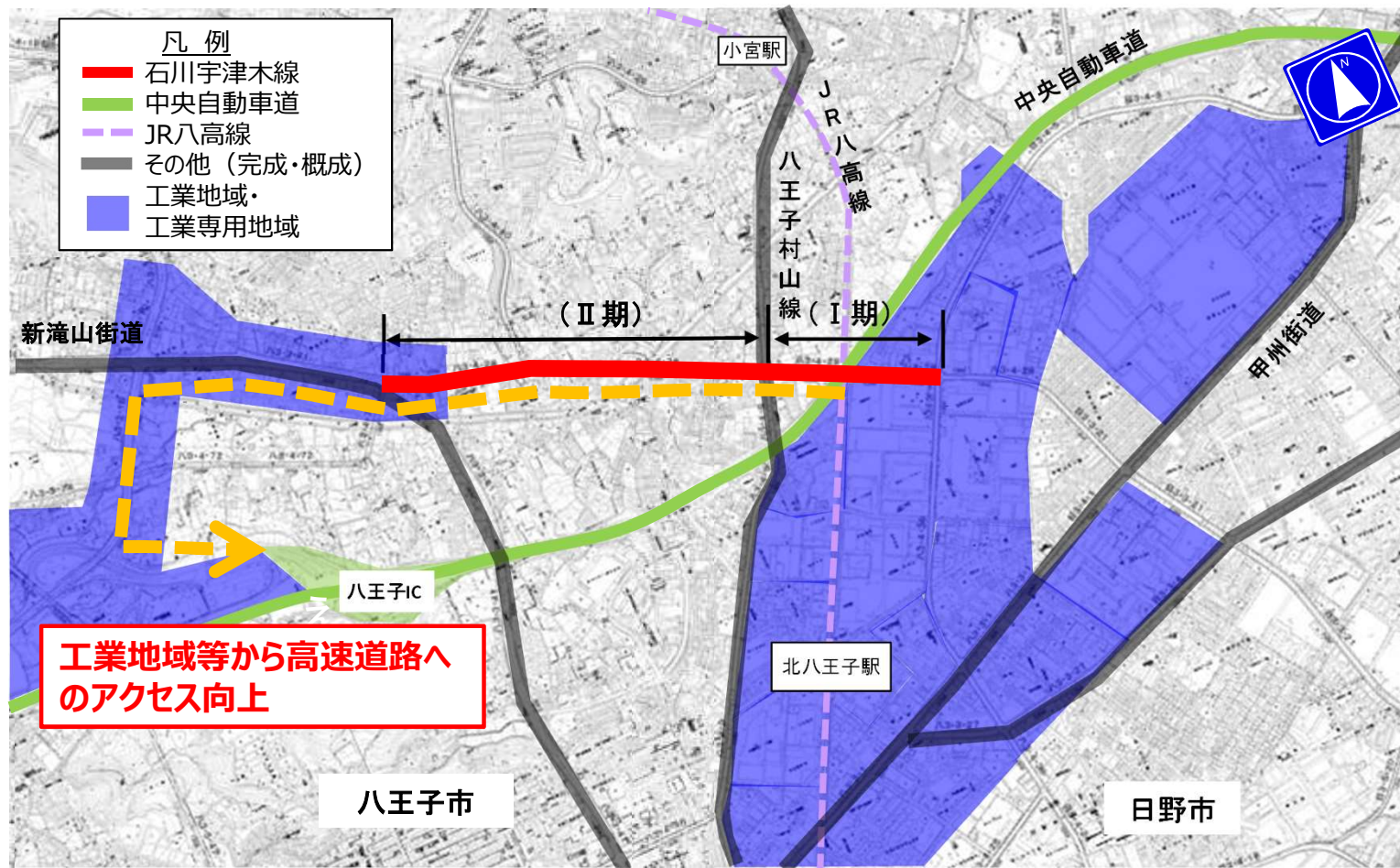
	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	○
	交通不便地域の解消	◎
	商業・産業の活性化	○
	公共施設へのアクセス向上	○
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	○
	その他	

※該当欄の◎は次頁に概要あり

### 3. 事業の投資効果(3)

#### ＜交通＞物資流動円滑化への寄与

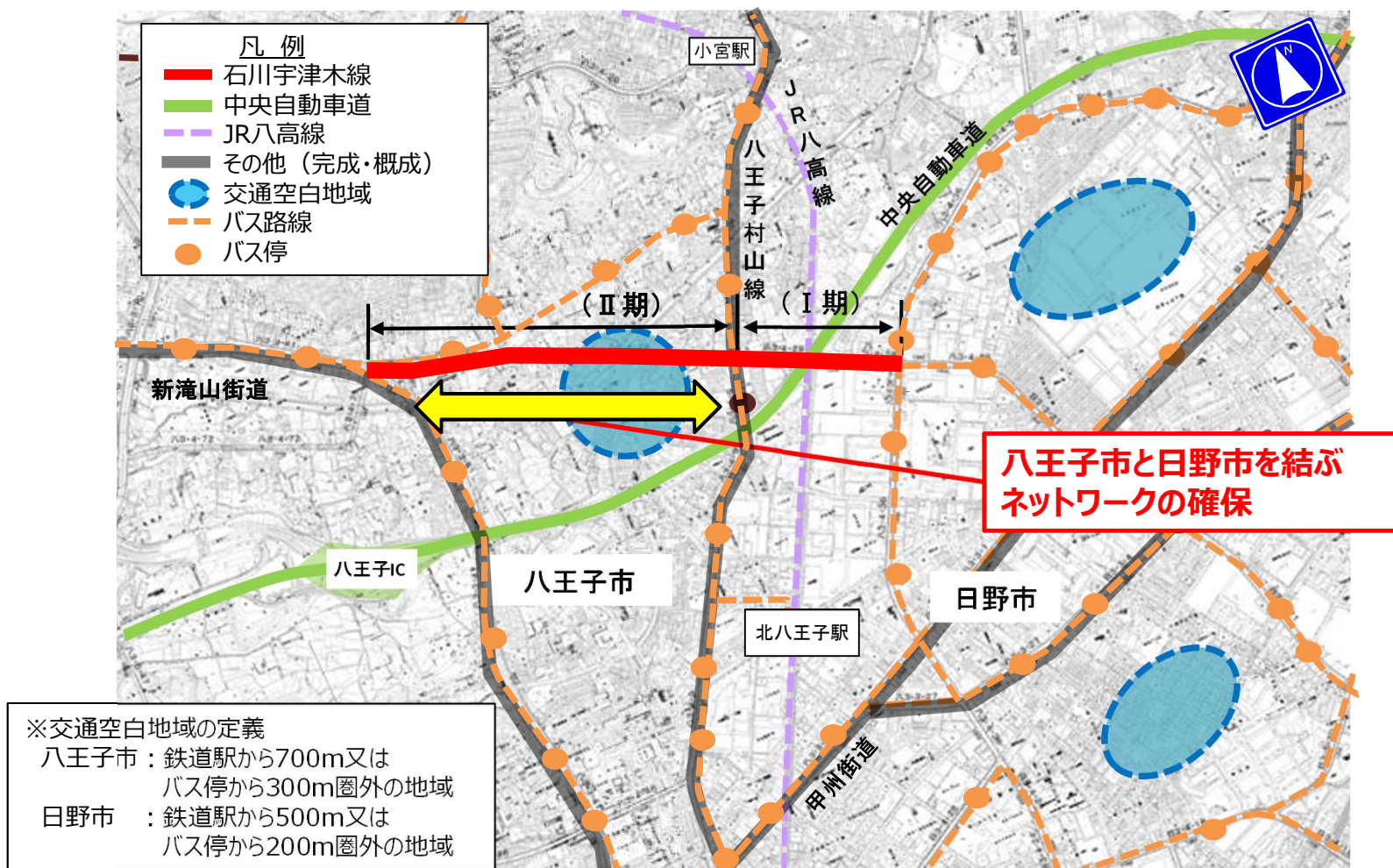
- 工業地域・工業専用地域を横断するアクセスの確保とともに、**高速道路へのアクセス向上**が図られる



### 3. 事業の投資効果(3)

#### <くらし> 交通不便地域の解消

- 交通空白地域<sup>※</sup>を横断するネットワークの確保により、交通不便地域の解消が見込まれる



## 4. 事業の進捗状況と見込み等

### 事業費の執行状況

(R3年度末時点 カッコ内は前回評価時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	3,677(－)	2,600(－)	6,277(－)
執行済額(百万円)	3,173(－)	347(－)	3,520(－)
執行率(%)	86.3(－)	13.3(－)	56.1(－)

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
15,775m <sup>2</sup>	13,580m <sup>2</sup> (－)	86.1%(－)

## 4. 事業の進捗状況と見込み等

### 一定期間を要した背景等

- 多くの地権者から事業への理解・協力を得られたが、移転先選定等に課題がある一部地権者との折衝に時間を要している。
- 沿道との高低差処理検討に時間を要している。



高低差処理検討箇所

### 残事業の取り組み及び進捗の見通し等

- 用地は86.1%取得済みであり、残る未取得用地についても早期取得を目指し、折衝を進めていく。
- 用地取得状況を踏まえて、電線共同溝設置工事及び街路築造工事に着手していく。

## 5. コスト縮減等

### コスト縮減や新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 橋梁の設計にあたっては、取付道路に生じる高低差を最小限とし、工事全体にかかるコストを抑えるよう検討していく。
- そのほか、一般的な街路築造工事部については、施工にあたって新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性は極めて少ない。

### その他のコスト縮減の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。
- 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画（R3.6改定）を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。



## 6. 対応方針（原案）

（事業の必要性等に関する視点）

- 八王子市と日野市を結ぶ道路ネットワークの強化
- 歩行者、自転車通行の安全性の向上
- 電線類の地中化による良好な都市景観の整備と防災性の向上

（事業の進捗の見込みの視点）

- 残る未取得用地の早期取得を目指し、計画的に折衝を進めていく。
- 用地取得状況を踏まえて、電線共同溝設置工事、街路築造工事を順次行い、早期完成を目指していく。



### 対応方針（原案） 継続

- 八王子3・4・28号線は、道路ネットワークの強化、歩行者、自転車の安全性の確保、地域の防災性や利便性の向上、良好な都市景観の創出の観点から、事業の必要性が高く、早期の効果発現を図ることが適切。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。